

第5学年国語科学習指導案

日 時 平成18年10月3日(火) 5校時
児 童 男子6名 女子4名 計10名
指導者 小山田 忍

1 単元名(教材名)

目的に応じた伝え方を考えよう(ニュース番組作りの現場から)

2 単元について

(1) 児童について

児童は第4学年までの説明的文章の「読むこと」においては、重要語句に着目して段落ごとの内容をとらえ、さらに段落と段落をつなげてまとまりごとに何が書かれてあるかをとらえる学習をしてきた。また、「初め」「中1」「中2」「終わり」という文章構成も学習してきた。さらに、第5学年では、「サクラソウとトラマルハナバチ」で文章を4つの大きなまとまりとしてとらえ、それを読みの視点として、筆者の考えが述べられている最終段落をもとに要旨をとらえる学習をしてきた。

本学級の児童は、書かれてある内容に興味や関心を示し、疑問をもちながら意欲的に調べようとする児童が多い。また、児童は「読むこと」について、重要語句をおさえることができれば段落の中心をとらえることができるようになってきている。しかし、長い段落や段落のつながりを考えることを苦手としている児童もいる。さらには、重要語句は分かっているにもかかわらず自力で要旨をまとめることが困難な児童もいる。本単元は情報発信との複合単元であり、自ら情報を発信していくためにも、教材の読み取りを丁寧にしかも簡潔に指導し、要旨をしっかりとらえさせたい。

(2) 主たる指導事項

「読むこと」における本単元の指導事項は、「目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること。」「書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと。」である。そして、本教材で身に付けさせたい力は、番組作りの大切な点を的確に押さえながら報道スタッフの願いなどを読み取ることと、自分たちが番組を作るために必要な事柄を時間の順序にしたがって段階ごとに読み取ることである。

そのためには、これまでの学習してきた「段階ごとに大事なことを読み取る力」を基にしながら、時間を追ってまとめられている番組作りの過程を、自分の情報発信活動を行うための大切なポイントとして逃さず読み取り、要旨をとらえることが大切となる。また、情報発信活動の前には、前学年で学習した題材の選び方を想起させることも必要である。

(3) 指導に当たって

本教材は、ニュース番組の特集についてその制作過程をまとめた説明的文章である。「話題選び」「取材」「撮影とインタビュー」「編集」「放送用原稿を書く」という時間の順序にしたがって論が展開されているので、番組作りの過程や大事な事柄を時系列に沿って読み取る文章として適している。また、番組スタッフになったつもりで文章を読み進めることができるので、番組作りの方法を学ぶだけでなく、思いのほか制作期間がかかっていることやスタッフの協力、苦勞、番組にかける情熱、願いなどを読み取ることもできる。文章構成としては、「初め」「中」「終わり」の典型的な説明的文章の構成ではあるが、これまで学習してきたような「問い」「答え」の形ではなく、「話

題提示」「～番組作り」「筆者のまとめ」となっているのが特徴である。段落には、筆者が伝えたいこととして番組作りの努力や願い、制作の過程がまとめられている。

本単元は、情報活用単元でもあるので、子どもたちが情報発信のための言語活動を活発に展開できるようにするために、番組作りの過程や番組を作るうえでの大切なポイント・工夫、さらには報道スタッフの協力や願いなどをしっかりと読み取らせたい。

そこで、指導に当たっては、次のことに留意したい。

ア 番組作りの過程を読み取ることができるように、ペア音読を通してすらすら読めるようにしておく。

イ 読み取りを確実なものにするために、読みの視点を明確にしておく。

(ア)「特集」ができるまでの過程を読み取らせる際の読みの視点としては、本文の「16日前」「8日前」「2日前」という時間の経過を表す言葉から、「16日前」「15日～9日前」「8日前～3日前」「2日前～本番」の4つの時間的順序を把握させ、その中の5つの過程を読み取らせる。また、「～しました。」という文末表現から、「番組作りのためにしたこと」を読み取らせる。

(イ) 番組作りのそれぞれの過程で大切なポイントを読み取らせる際の読みの視点としては、各過程の大切なポイントを表す言葉(「大切なのは」「工夫をこらします。」「～しようと考えました。」「工夫が必要です。」など)に着目させる。

(ウ) 要旨を読み取らせる際の読みの視点としては、これまで学習してきた番組作りの5つの「過程(話題選び・取材・さつえいとインタビュー・編集・原稿作り)」と関連する段落の重要語句を選び出し、その言葉を使って要旨をとらえさせる。

ウ 毎時間の学習をふり返るために「番組作りマニュアル」を活用していく。特集ができるまでの過程、各過程でかかわる報道スタッフと協力、番組作りにおける大切なポイント、番組作りの要旨などを1時間毎に書き加えていくようにする。そして、情報発信の手引きとして活用できるようにさせていく。

エ 情報発信の学習では、編集活動を通して自分たちが伝えたいことを伝える方法を学習していくが、単元の最後では、受信する側の心得についても考えさせたい。発信される全ての情報が正しいとは限らないし、ひとつのメディアからの情報を正しいと判断して頼るのは危険である。情報に対して、「本当にそうなのか」と考えながら受信する姿勢と、発信する側も同じ人間であるからそこに表れる意図があることを理解し、他の見方や考え方もあるという意識で情報を処理していく構えを身に付けさせたい。

3 単元の目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

・ニュース番組作りの過程を知り、伝えたいことと伝える方法について興味を深める。

(2) 読むこと

・文章構成をつかみ、要旨をとらえて、ニュース番組がどのように作られているかを読み取ることができる。

4 単元の評価規準(B)

(1) 国語への関心・意欲・態度

・ニュース番組作りの過程を知り、伝えたいことと伝える方法について興味を深めようとしている。

(2) 読むこと

・番組作りの大切な点を的確におさえながら、報道スタッフの願いなどを読み取っている。

・自分達が番組を作るために必要な事柄を時間の順序に従って段階ごとに読み取っている。

5 学習指導計画(15時間扱い)

段階	学習課題	活動計画(時間)	評価規準(B)
つかむ	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニュース番組について感想を発表し合おう。 ・ 初めて知ったことや興味をもったことについて発表しよう。 ・ 意味調べをしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニュース番組を視聴し、感想を発表し合う。 ・ 自分たちで情報を発信していくために、この教材を通して情報発信のための過程を学習していくという目的意識をもつ。(1時間) ・ 教材文を読み、初めて知ったことや興味をもったことについての感想をノートに書き、交流する。(1時間) ・ 新出漢字や難しい言葉にサイドラインを引きながら読む。 ・ 意味調べをする。 ・ 調べた言葉を意識しながらペア音読をする。(1時間) 	<p>関 ニュース番組に関心をもとうとしている。 (発言・ノート)</p> <p>関 ニュース番組作りについての興味を示している。 (発言、ノート)</p> <p>読 新出漢字の読みに気を付けながら読んでいる。 (観察)</p>
とらえ・ふかめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「特集」ができるまでの過程を読み取ろう。 ・ 報道スタッフの協力を読み取ろう。 ・ 番組作りの大切なポイントを読み取ろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ~ 段落を読み、「番組制作マニュアル」に整理しながらまとめる方法を理解し、時間の順序を確認する。(1時間) ・ 段落以降を前時で確認した時間の順序に従って自分で表に整理する。 ・ 「編集」についてP44の「編集して伝える」を扱い、「選ぶ」作業も含まれることを学習する。(1時間) ・ 段落から「特集」とは何かを読み取る。 ・ 段落以降から番組作りの報道スタッフの協力を読み取る。(1時間) ・ 番組作りの各過程で、大切なポイントを表にまとめる。(1時間) 	<p>読 番組作りの過程と文章構成を読み取っている。 (発言・ノート)</p> <p>読 「特集」とは何かや報道スタッフの協力を読み取っている。(発言・ノート)</p> <p>読 番組作りの大切なポイントを読み取っている。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> 報道スタッフの思いと結び付けながら、番組作りの過程をまとめよう。(要旨をとらえよう) 	<ul style="list-style-type: none"> 段落のなかで、番組作りの過程となる重要語句を使って、要旨をとらえる。 段落と本文の内容を関連付けることによって番組作りの理解を深める。(1時間:本時) 	<p>(発言・ノート)</p> <p>読 報道スタッフの思いが表れている語句「ねうちがあるものを選び」「願いをこめて」をふまえて、要旨をとらえている。</p> <p>(発言・ノート)</p>
つ か う	<ul style="list-style-type: none"> 情報を発信するまでの手順を確認しよう。 テーマを決め、取材する内容を話し合おう。 取材したことをもとに伝えたいことを話し合おう。 目的をもって編集し、放送用原稿にまとめよう。 「特集」の発表会をしよう。 学習のまとめをしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> これまで学習してきたことをまとめた「番組作りマニュアル」と、「工夫して発信しよう」から、情報発信までの手順を確認する。(1時間) グループ毎に企画会議を開き、誰にどんな目的で伝えたいのかをはっきりさせてテーマを決め、疑問を基に取材の内容を話し合う。(1時間) 企画会議を開き、取材したことをもとに伝えたいことを話し合う。 伝えたいことが決まったら、撮影やインタビューの計画を立てる。(1時間) 自分たちが伝えたいことがわかるように編集し、放送用原稿にまとめる。(2時間) 情報を発信し、感想を交流する。(1時間) 情報の発信や受信について考えを深める。(1時間) 	<p>関 「番組作りマニュアル」と照らし合わせながら、「工夫して発信しよう」を読もうとしている。(観察)</p> <p>関 目的意識をもってテーマを決めている。</p> <p>話 「なぜ」という疑問を出し合い、取材の内容を話し合っている。</p> <p>(観察・企画書)</p> <p>話 取材したことから「疑問」についての答えを見つけ出し伝えたいことを話し合っている。</p> <p>(観察・企画書)</p> <p>書 集めた材料を目的に応じて編集し、自分達が伝えたいことが分かるように原稿を書いている</p> <p>(観察・原稿)</p> <p>話 自分たちの意図が伝わるように発表したり、感想を話したりしている。</p> <p>(発表・発言・感想)</p> <p>関 情報の発信や受信について考えを深めようとしている。(発言・ノート)</p>

6 本時の指導

(1) 本時と仮説とのかかわり

説明的文章の学習指導において、子ども一人一人が自ら読みの視点をもつことができる学習活動を工夫し、その定着を図るための振り返りを取り入れていけば、「読むこと」の力が高まるであろう。

本時は、段落をもとに番組作りの要旨をとらえていく学習である。要旨をとらえる際には、まず、段落の重要語句を見極めていくことが大切である。これまで学習してきた「特集ができるまでの過程」をもとに、自力で段落の重要語句を見つけることができる学習活動を工夫していきたい。また、報道スタッフの思いが表れている語句に着目させたい。学習の最後の「まとめる段階」では、要旨がどうまとめられたかだけでなく、どのようにすれば要旨をとらえることができたのかを児童一人一人に定着させるために、読みの視点を振り返る場も大切にしていきたい。

そこで、以下のような学習活動を設定した。

- ア 「つかむ」段階では、段落が番組を作る5つの過程と対応していることに気付くために、段落を5つに区切ってグループ読みをする。
- イ 文章構成から、段落が要旨の段落であることを確認する。
- ウ 「ふかめる」段階では、5つの「過程」の言葉に対応する重要語句を段落から見つけ出すために、サイドラインを引く。
- エ とらえた段落の重要語句が5つの過程と対応していることを確認するために、各過程が書かれてある段落の中心を音読する。
- オ 要旨の理解をより深めていくために、「ねうちのあるものを選ぶ」「願いをこめる」とは、どのような報道スタッフの思いがあったかを考える。
- カ とらえた要旨をまとめるために「番組作りマニュアル」を活用する。
- キ どのようにすれば要旨をとらえることができたかを確認するために、読みの視点を振り返る。

(2) ねらい

報道スタッフの思いを本文の内容と関連付けながら読み取り、番組作りの過程をまとめることができる(要旨をとらえる)。

(3) 展開

段階	学習活動	時間	指導上の留意点・評価
つかむ	1 前時の学習から番組作りの「過程」を想起する。 2 学習場面(段落)を読む。 3 学習課題を把握する。 報道スタッフの思いと結び付けながら、番組作りの過程をまとめよう。(要旨をとらえよう)	8分	<ul style="list-style-type: none"> ・番組を作る「過程」を確認させる。 ・段落構成から段落が要旨の段落出ることを確認させる。 ・段落が番組を作る「過程」に沿って書かれてあることに気付かせるために、段落を5つに区切ってグループ読みをさせる。 ・要旨をとらえるうえで5つの過程と関連する重要語句を段落から選び出し、要旨をとらえていくことを確認させる。

ふかめる	<p>4 要旨を読み取る。</p> <p>(1) これまで学習した「過程」を想起し、段落の重要語句をとらえる。</p> <p>「おどろきや疑問」 話題選び 「取材」 取材する 「インタビューや さつえい」 さつえいとインタビュー 「ねうちがあると 思うことを選ぶ」 編集する 「願いをこめる」 放送用原稿を書く</p> <p>(2) とらえた重要語句 についてさらに深める。</p> <p>「ねうちがあるものを選ぶ」とは、どんなことが分かるように編集することだったか。 「願いをこめる」とは、だれがどんな思いをこめて放送原稿を書くことだったか。</p> <p>(3) 「番組作りマニュアル」に要旨をまとめる。</p>	30分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・番組作りの5つの「過程」は、それぞれ段落のどの言葉(文)と対応しているかサイドラインを引かせる。</p> </div> <p>・サイドラインを引けない子どもには、段落の文章が、時間の順序に従って書かれており、番組作りの「過程」に対応していることに気付かせる。</p> <p>評 5つの「過程」と関連させて、段落の重要語句を選び出している。</p> <p>・とらえた重要語句がどの過程に位置付いてるかを確認させるために、それぞれの過程が書かれてある段落の中心を音読する。</p> <p>・重要語句 について、段落と本文の内容を関連付けて補足させる。</p> <p>「ねうちのあるものを選ぶ」とは。 疑問の答えが分かるように編集すること 「願いをこめる」とは。 デスクやディレクターが最も伝えたいことを放送用原稿にまとめること</p> <p>・報道スタッフの思いが表れている言葉を使って、自分なりの要旨を書かせる。</p> <p>評 重要語句を使って要旨をまとめている。</p>
まとめる	<p>5 学習のまとめをする。</p> <p>(1) 読みの視点をふり返る。</p> <p>(2) まとめの音読をする。(一斉読)</p>	7分	<p>・文章構成をふまえ、要旨の段落の重要語句と報道スタッフの願いを結び付けて考えると、要旨をとらえることができることを確認する。</p> <p>・報道スタッフの思いと結び付けながら段落を音読させる。</p>

(4) 具体の評価規準

- A 報道スタッフの思いが表れている語句「ねうちがあるものを選び」「願いをこめて」を本文の内容と関連付けながら、要旨をとらえている。
- B 報道スタッフの思いが表れている語句「ねうちがあるものを選び」「願いをこめて」をふまえて、要旨をとらえている。

努力を要すると判断された児童への具体的な手立て

要旨の冒頭文「ニュース番組作りは、～が大事な出発点である。そして～をして・・・」を提示して、5つの重要語句(過程)を順序よく書かせる。

7 板書計画

<p>ニュース番組作りの現場から 清水建宇</p> <p>課 報道スタッフの思いと結び付けながら、番組作りの過程をまとめよう。(要旨をとりえよう)</p>	<p>番組作りの過程 段落の重要語句</p>	<p>話題選び おどろきや疑問</p>	<p>取材 取材</p>	<p>さつえいと インタビューや インタビュー さつえい</p>	<p>編集 ねうちがあると<u>思</u>つこと とを<u>選</u>ぶ</p>	<p>放送用原稿を書く 疑問の答えが分かるように編集すること 願いをこめる 最も伝えたいことを原稿に書くこと</p>	<p>「番組作りマニュアル」 要旨</p> <p>ニュース番組作りは、おどろきや疑問(話題選び)が出発点となる。そして取材し、インタビューやさつえいをして材料を集める。そしてねうちのあるものを選び(編集し)、願いをこめて(放送用原稿を書いて)ニュース番組を作る。</p>
---	------------------------	---------------------	--------------	--------------------------------------	--	--	---